

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、既に済生会今治病院にて行った疫学調査「検診受診者を対象とした生活習慣病・動脈硬化性疾患・発癌の検討」に同意をされ参加された方の検診の結果や保管されている血液を使用します。この研究の内容を詳しく知りたい方や、検診情報や血液検体を利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】内因性のコルチゾールを用いた CYP3A 活性評価法の検討

【研究機関】愛媛大学医学部附属病院第三内科科

【研究責任者/ 代表者】日浅陽一（愛媛大学医学部附属病院 第三内科 教授）

【研究の目的】

過去に済生会今治病院で検診を受けられ、疫学調査に参加された方の検診結果の情報と保存された血液を用いて、薬物代謝酵素 CYP3A の活性評価法の研究を行うことといたしました。この研究は健常人における血中 6β-ヒドロキシコルチゾール/コルチゾール比の範囲を明らかにすることを目的としたものであり、その結果は今後の診療にも役立てられると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）2015年8月1日～2016年2月25日に済生会今治病院で検診を受診し、疫学調査「検診受診者を対象とした生活習慣病・動脈硬化性疾患・発癌の検討」に同意をされ参加された18歳以上の方。

（利用する情報）問診：年齢、体重、身長、疾患の有無、服用薬等

（利用する試料）保存した血液

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。対象となる患者さんのデータ/試料は、匿名化されて、CD-R に保存され愛媛大学医学部附属病院と東京薬科大学に送られます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者> 愛媛大学医学部附属病院 第三内科 三宅映己

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院第三内科 三宅 映己

791-0295 愛媛県東温市志津川 Tel: 089-960-5308